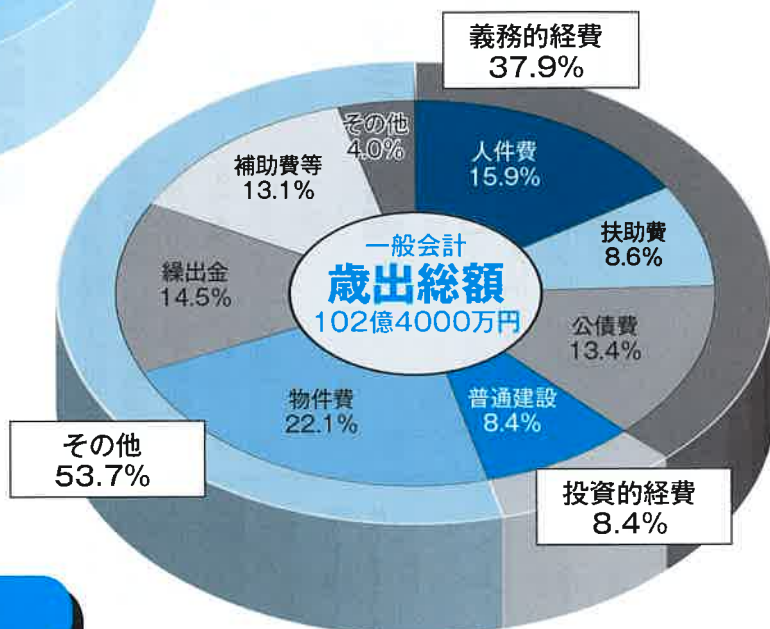
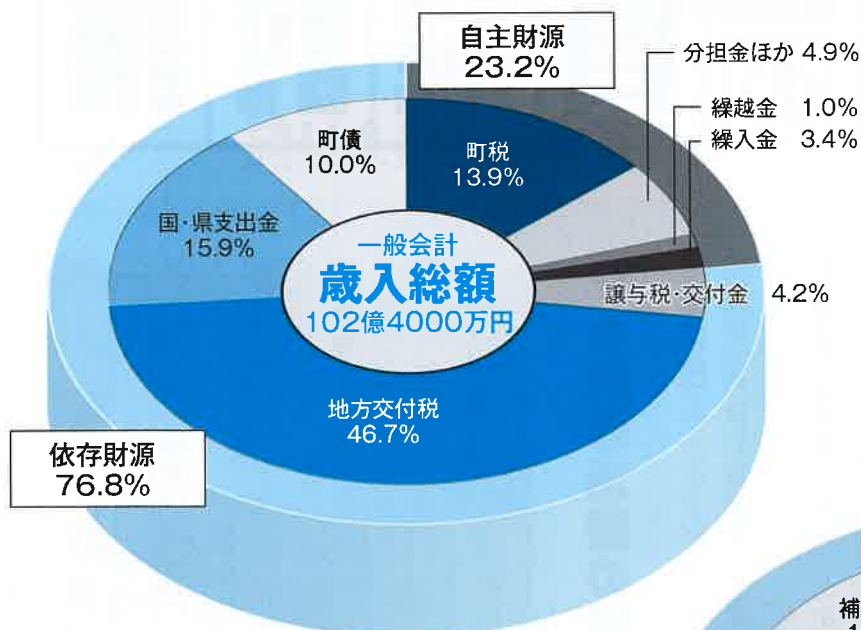


財 源



使いみち

名和陸上競技場の改修は

名和総合運動公園陸上競技場修繕工事に

費が大幅に膨らむ。

1億5000万円が計上されている。財政上の問題から、東京オリピック・パラリンピック終了後に、助成金などの財源確保ができれば取組み、修繕工事後に改めて公認を取得し直すという方針となっていた。

このため公認継続の方が財政的には有利だが、その場合は公認の延期限内に修繕工事を終えて検定を受ける必要がある。

現在の公認有効期間は平成30年5月末で、公認有効期間の延長は1年以内である。

しかし、走路の劣化が進行し、安全に利用できない状態になってきたので、平成30年度に修繕工事を行い、公認の更新も受ける。

公認の継続に比べて、新規に公認を得る場合には、新基準での整備が必要になるなど、工事費や施設備品



改修が決まった競技場